

| 市町村名 | 対象地区名 | 集落名 | 大字 | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|----------|------|----------|--------------|----------|
| 岡山市 | 東区東部第1地域 | 開成地区 | 金田・九幡・豊田 | 令和2年 8月7日 | |

1 対象地区の現状

| | |
|--|-------|
| ①地区内の耕地面積 | 409ha |
| ②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計 | 217ha |
| ③地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計 | 151ha |
| i うち後継者未定(回答有)の農業者の耕作面積の合計 | 6ha |
| ii うち後継者について不明(回答無)の農業者の耕作面積の合計 | 104ha |
| ④ i 地区のアンケート結果において、今後引き受け意向のある耕作面積の合計 | 32ha |
| ④ ii 担い手調書により、今後中心経営体が引き受け意向のある耕作面積の合計 | 58ha |

2 対象地区の課題

担い手不足。(後継不明の耕作面積と、引受可能面積との差が78haある。)
耕作放棄地がある。
市街化が進み耕作がやりにくい。
金田は北から南へ高低差が大きく、小さな田・変形地など、圃場の条件が良くない。
農地に対する土地所有者の関心が低く、地元負担を要する圃場整備は難しい。
農道整備をしてほしい。
水の管理が難しい。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地中間管理機構を活用した農地の貸借を進め、耕作人同士で農地の交換をすることにより、農地集約と、生産効率の向上を図る。
樋門の自動化等、農業のしやすい環境の整備について検討していく。
新規就農の働きかけや入作の受け入れ等で、放棄地が出ないように対策していく。
区画の拡大ができるように、GPS等を使って畦畔を除去する等検討していく。